

令和 3年 4月 14日

武雄市長 小松 政 様

(武雄市議会議長経由)

会派名

フォーラム武雄

代表者名

宮本栄八



政務活動費実績報告書

武雄市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第7条第1項の規定により、次のとおり令和2年度政務活動費の実績を報告します。

交 付 年 月 日	令和 2年 4月 15日
文 書 番 号	武市総第 37号
交 付 年 度	令 和 2 年 度
完 了 年 月 日	令和 3年 3月 31日
交 付 決 定 金 額	100,000 円

# 令和2年度事業報告書

(会派名 フォラム武庫)

月 日	事業内容	備考
R2 7月14日	第78号 栄八通信発行	
" 10月8日	第79号 "	
R3 1月15日	第80号 "	
		* 4月、3月議会で一般質問中止以下同様発行

令和 3年 4月 14日

武雄市議会議長 山口昌宏様

会派名 **フォーラム武雄**  
 代表者名 **宮本栄八**



収 支 報 告 書

武雄市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条の規定により、次のとおり令和2年度政務活動費の収支を報告します。

- 1 収入 **503,880**
- 政務活動費 **100,000** 円
- 2 支出 **503,880**

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	円	
研 修 費		
広 報 費	<b>503,880</b>	<b>議会だより3回発行</b>
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
計	<b>503,880</b>	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残 額 **0** 円

政務活動費 領収書写し  
《令和2年度分》

【科目】（いずれか1つに○をつける）

調査研究費 研修費 **広報費** 広聴費 要請・陳情活動費  
会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費

金額	503,880	円
支払先	(有)御厨印刷所	
内容	印刷・お礼等	

【領収書添付欄】注：領収書が重ならないように貼ってください。

No. ....	<b>領 収 証</b>	
宮本 栄八 様		令和3年3月19日
金額	百万 ¥ 503	千 880 円
但し印刷代と12.		
上記の金額正に領収いたしました		
現金	¥503,880	
小切手		

〒843-0022 武雄市武雄町大字武雄7206番地

有限会社 **御厨印刷所**

取締役 御厨 初 

TEL (0954) 22243 22016

# 栄八通信

武雄市議会だより (フェイスブックも) (始めました)

http://ei-8.info/

第78号

R2年14(7)10月発行



武雄市議会議員  
宮本 栄八  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

## コロナ対策支援策

### プレミアム商品券発行一般質問効果あり?

コロナ問題で各地の経済が疲弊する中、政府が、コロナ対策臨時交付金を1兆円出した。その活用が、当初、休業や減収した事業者の保証には当てられないルールだったが、西村大臣が各地首長から使い勝手が悪いとの意見が出て、補償でなく支援金なら良いと変わって、実体に応じた事業者支援ができるようになった。

国の1兆円の武雄市分への割り振りは2億円となった。  
武雄市は専決(市長が議会にかけず、事後承認を受ける)で、フレレ大作戦と言って、3人以上の事業者が共同でする事業に10万円に1事業者ごとに5万円を補助する、いわゆるグループ補助金に5000万円、学校の遠隔ネット授業用のパソコン・ルーター整備などに3000万円程度を使用。一方、国は、この臨時交付金の活用事例集の冊子を大量に配布して、109もの事例をわざわざ紹介、どれも国の各庁が行っている事業で、減収の事業者が直接助けにならない事業ばかり、そこで、全国自治体も国の事例に沿ってやっているのかを、ネットで調べると約6割の自治体は、国の事例にとられず、独自に、事業者の支援金に使っている事がわかった。

そこで、最近始めたフェイスブックや、今回の一般質問で、プレミアム商品券の発行を提案、プレミアムの議員も同じ考えの人も多く6月議会中に追加議案として、プレ

コロナ臨時交付金

5000万円	専決
フレレ大作戦	
3000万円	追加
学校ネット	
5000万円	
プレミアム	
3000万円	
観光協会	
扇風機など	

### コロナ以外の事業も

【朝日公民館】 移転新築の為に用地購入で約1400坪を朝日小北側の農地を4247万円。その造成に、1845万円。  
【北方公民館】 昨年の大雨浸水で、設備関係が大規模に被害。その改修に1億5492万円。再度被害に遭わないために、機械類を高い場所に移動して設置する。市は、全国自治体加入する保険から保険金は来るが、民間保険のように、全額でなく、耐用年数で計算されるので市の負担も必要になるとの請。  
【観光交流施設】 武雄温泉駅の

雨期まで間に合わず  
大水害から今日の状況  
昨年の水害後、主原因の六角川水系は、国の激特事業に採択され5年間で、国369億円、県49億円、改良工事を行う。国の主な事業は、分岐する牛津川の遊水池と六角川の河道掘削・高橋排水機場のポンプ増設。県は広田川のポンプ新設。  
武雄市は、災害の体験を職員や区長さんから聞き取りをしていて、一部で議員や市民に公開して防災に役立てるように提案するが、いまだ公表せず。  
一方、市は、市役所が浸水するのを防ぐために、入口に止水板の設置工事を進め、北部からの水が市役所方面に来ないように、旧市役所前の水路に堰を作り、南の武雄川に直接流れるように改造を進めている。  
※議会の常設水害特別委員会の提案を受けて、ポンプ停止アラート

### 南口に新幹線の待合室ができるが

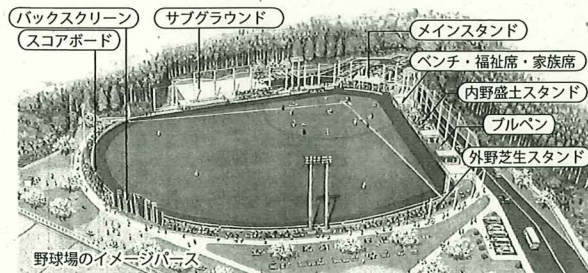
その通路沿いに(交番の裏あたり)新幹線高架下を借りて、市が観光センター的なものを作る予定で、その設計料に約800万円を予算化した。  
現在も在来線高架下に、観光案内所や交流センターはあり3つ目となり、今後機能を調整するとの話だが、まずそれを予算化すべきではないかの疑問もある。  
【東川登小グラウンド照明】 スポーツ振興補助金839万円と地元負担金239万円を財源として、グラウンド照明のLED化を図る。管理は学校ではなく地元体育協会のこと。  
※私はこの件を考える中で、体育館の照明は無料、グラウンド有料の矛盾について考えてみることにした。  
【防犯カメラ設置】 カメラ自体は33台を市内業者から寄付を受けた。その設置費が1894万円。設置する場所については、これから決定するらしい。

六角川掘削  
六角川の河道掘削を激特5年間で行う。現在設計中で、9月から工事なので、今雨期には間に合わない。場所は、大町橋から北方町の高速道路と交わる付近まで。H30年の、大日堰付近の越水もあり、橋町の一部、北方町橋下の一部で通常事業で掘削はされている。掘削残土は、多久の採石場跡に産廃として埋め立てて費用がかかっていた。今回の激特で、大量の残土が出ると思われ、産廃として出せば、予算が取られ、本来の河道掘削の面積が小さくなることも心配される。そこで、武雄市が、土地のかさ上げなど、有効活用を図れば、施工面積も広がり、水害が抑えられる。その中で、一般質問で活用策の武雄河川事務所への協力を提案、武雄市も前向き答弁。

### やっと思えてきた 新野球場のすがた

武雄市は、プレスリリースと云ってマスコミに取り上げてもらうように情報を自ら出すのが特徴。しかし、新球場、新体育館の情報は議員も良くわからないし、市民はなおさらと思うところ。  
今回、ようやく報告できるのも初めて、新野球場の配置図が提出されて想像が出来るようになった。基本設計は昨年7月に出された。通常は、基本計画の一番目に配置図があるのが一般的で、スターウオースのように、エピソードが後に来て、わかりづらいう出方が原因。  
【新野球場】 場所は東川登町のフジコンから西山への山越えの道の途中ら辺。元々谷間を、新幹線トンネル残土での埋め立て地で、南側は、堤防のような三角形の土地。  
私は野球をしないので、サブグラウンドが、人工芝サッカー場にでもなればと思っていたが、面積が狭いので、キヤッチボール程度のごとでがっかり。また、外野席まで入れば5000人規模になるが、駐車場が120台程度では、少なすぎる気もする。こう考えてくる、この場所の選定が、議員にもわからない形で新聞発表し、基礎調査も非公開にしたところに原因があるのではないかと思う。完成はR4年。

県 広田川ポンプ場  
場所は、北方小学校の東側の河川。昨年、アパートが浸水したあたりが、近年浸水が多発している。その西側に川添排水機場(国)があり、そこが排水する設定になっていたが、現実にはならず。そこで、広田川にポンプを設置するようにになり、県が設計を出していたが、実施工事を県市の誰がやるのかは決まらず数年を経た。今回の激特で予算が付き県が行う。また、前に設計に出していたものは、地元で説明した模様。内容は排水能力5トン(理由で①新幹線複線化の線路が水没しないこと。②北方小の西側校門から通学できる(ただし、市道を20センチ高める条件)の2つの条件のもとに整備。宅地開発は校門の高さまで盛土が必要とも考えられる。



# 福祉文教委員会改属と コロナ0.8密 対策など

2年任期の議会の委員会配属だが、私は第1希望は、建設、第2総務、第3が福祉文教で提出。割振り案では、第3希望の福祉文教に当たっていた。近年、私が人気無しの委員会に行くことで丸く収まる状況になっている。私自身回ってきた仕事をどこまで変えられるか挑戦との気もまだあり、この委員会改革を進めたい。【コロナ対策と学校改革】

本題に入るが、コロナで学校が一時期休校になっていた。その後「3密対策を徹底して学校を再開する」とあった。しかし、市教委は明確な方針や予算は示さず、各学校で工夫してもらっているとの、残念な話。

そこで、御船小・武雄中に行っていたが、他のクラスと音が干渉するので、電子黒板をベニヤ代わりに立てるなど先生たちの苦肉の策に驚く状況。武雄中では、部屋も先生もいないので、窓を開けての換気ができないし、エアコン導入前の扇風機も古いのは故障していて十分な換気もできないとの話で、1密対策ならぬ0.8密対策の状況。結局、市教育委員会の弁明は警戒レベルが低いので、児童生徒の机でなく体同士が1メートル離れていれば良いとの見解。私としては、新しい日常を作るには学校も例外ではないと思う。そこで優先して取り組むこととして、壊れた扇風機を変えて0.8密を1密対策にすること。現在1クラス39人で、特別支援児を入れて40人以上の、武中2・山内中1、御船小1の4クラスの分割は最低取り組むべきと思う。

## イギリス・アンゴラと 武雄市の関係

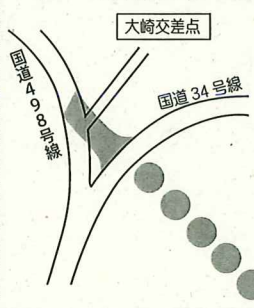
6月15日に河野防衛大臣が突然追撃ミサイル配備計画の停止を発表しました。武雄市との関係は山口県の方でなく、秋田県の方で配備を予定する自衛隊新屋演習場です。その新屋「あちや」が明治維新につながる戊辰戦争で武雄から庄内藩と秋田藩が激戦の最中援軍に行っていた場所です。3年前に秋田に訪問して説明を受けました。新屋の小高い大森山に大砲を据えて、南から勇猛とされた庄内藩の必死の追撃に多数の住民も犠牲になっています。そして、この新屋地区は、秋田市内と新屋の間には、秋田一の大川である、雄物川で分かれていて、敵を市内に入れないように川を背にして身、防衛戦の場所が、新屋だったのです。



その高台から反対の北に広大に見える青々とした森が、自衛隊新屋演習場です。地元武雄兵士の墓、「はがく墓苑」を守っておられるボランティアの方と、大森山に上がり南を見て戊辰戦争の話聞き、北を向いて、今度整備予定のイギリス・アンゴラの話聞きました。その中の1人が、またこの新屋地区が戦乱の地にならないければ良いがと言われているのを聞いて、地区的にはあまり賛成でない印象を受けています。また、秋田市長の穂積さんもメディアの口ぶりからすればデータ不正確もあり、あまり推進している印象でもなく感じていました。今回の整備計画停止で新屋地区の方がはっとされているなら、共に喜びたい。

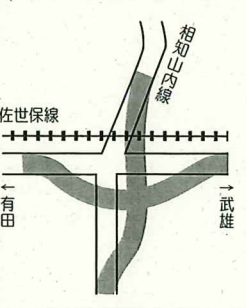
## 大崎(北方町)交差点改良ルート案発表される

大崎交差点は以前はドライブイン鳥、今はふちがみさんの前とここで、国道34号線のカーブの所に伊万里方面からの道路が、V字型に交差し、進路変更に手間取り混雑する交差点。昨年の5月ぐらいに、改良計画着手となったが、それ以降、県の方面で、検討が進められていたが、やっとルート概要が示された。これも県、具体的には、総合庁舎3階の村藤土木事務所工務1課で、武雄市内の県関係の道路や河川の整備を行っている。(2課は鹿島・嬉野) 本題に戻すが、場所は、山内町の元JJAやまうち近くの交差点で、JR佐世保線の踏切と隣接し、しかも道路が鋭角になっている、誰が見ても危険で不便。ちよつとした改造では解決できないので、長年そのまま。今回、道路、踏切、交差点を同時改良。具体的には、まずは鋭角を取るために踏切を東に移動して、また線路と交差点の間に距離を取るために、交差点を、南の元JJA駐車場あたりに移動する計画。これから、地元説明、用地取得、工事となるが、早期の実現を望む。



## カヤバ(山内町)踏切り改良 東移動し交差点南に移動か

3月ぐらいから強まったコロナで、年間の3分の1以上を売り上げる4月の開設記念競輪。これは各競輪場に、年1回、生誕祝いのGIIIレースをさせ、全国で販売して助けている。特に地方の競輪場にはなくてはならぬレース。武雄市は年約130億円の売り上げに対し、開設記念4日間だけで50億円を見込んでいた。しかし、コロナで、それは直前の高知競輪の実績から判断、しかし、武雄競輪の結果、30億円を売り上げ、最悪は免れた。一方、近年照明設備を新しくしていったが、ナイターや無観客のミッドナイトの売上はよく、最終的には前年度並みまで行けそう。一方、レースは地元山内選手が決勝に残ったが、意図的に進路を阻まれ優勝はできなかった。



## コロナ自粛と 競輪事業と 本題

何度が記述したと思うが、国が各自自治体、保有施設の将来計画40年後の目標を作成させている。「公共施設総合管理計画」武雄市はH29年3月に策定した。その中身は、40年間に人口が30%減るので、人口減に応じて、市の施設面積を削減して財政難に備える計画で、まずは10年間に8%を目標に、施設の在廃等を計画するとした。4つの心配な点を挙げる。①中間報告(実施) 先のスポーツ編で、白眉相撲場が前期に廃止されて駐車場になる。この案が数日間のパブリックコメント期間で正式に決定された。やはり計画案の中間報告をして十分に話し合いをして決定すべき。②フォーラム(統一) 具体的には、川原にある、第2山下団地は市営と県営が並んでいて、県営は外壁塗装がされて市営はいつするかと聞かれて本計画を

見ても具体的に記述がない。参考に、伊万里市の計画を見れば、回収箇所・年度・費用まで記入してある。要は、具体的に記述のない計画は議論にならない。改善や対策に結びつかない。そこで書式フォーラムを統一し、具体的にわかる計画に。③新規施設(記述) この計画は、40年間に市民に必要な施設を決定する計画。現在は、現有施設、野球場やテニスコートなどの廃止統合のみの計画で、昔はなかった、グラウンドゴルフ場やサッカー場などを新設については記述がなく、それでは、総合管理計画にならない。④部門別(調整) 北方西体育館は、スポーツ部門から見れば不要、しかし、北方町は剣道部が使っていたわけで、文化教育部門としては必要で、そこ面積の融通調整が必要と思う。

追伸コーナー 私も、コロナの10万円、定額給付金を頂いた。その分は市内で買い物に使ったつもり。また一般質問のなかから2議会は通信の発行もなくなった。その代わり、市から貸与された、タブレットでフェイスブックに、「市議会議員宮本栄八の伝言板」を上げて情報発信をしているので、イイネは不要ですので、見て参考にしたいだけだと思います。暑いので、お体を大切に。

## ICTネット教育

本物に成って来た 私の思いでは、これまで、タブレットを小中学生に配布することが目的化して、また、教育を宣伝の道具にされてきた。あまり好感を持ってなかった。今回コロナ対策の交付金を使って、今回コロナ対策の整備として、ネットのない家庭を生徒の2割と見て約800個の通信ルーターを配布して平等な教育機会を保障する。①通信環境の整備として、ネット授業は、グーグルのGスライドというのを利用する。一番私が良いと思うのが、授業内容の入った学習ソフトを、中学生一二年生分を契約し、家から、予習復習ができるので、塾などに行けない子供にも教育機会が与えられること。②「タブレットをかって」国が全生徒に1台整備をかけたので、それが決まれば、キーボード付きに全台交換も。

## アセット計画個別9月策定への心配

※地区については、旧北方町の施設が全体的に古い。旧庁舎をはじめ、西体育館、旧幼稚園、北方グラウンドなど統合廃止されるものが多く、地区的バランス調整が必要ではないかと心配する。

## 追伸コーナー

私も、コロナの10万円、定額給付金を頂いた。その分は市内で買い物に使ったつもり。また一般質問のなかから2議会は通信の発行もなくなった。その代わり、市から貸与された、タブレットでフェイスブックに、「市議会議員宮本栄八の伝言板」を上げて情報発信をしているので、イイネは不要ですので、見て参考にしたいだけだと思います。暑いので、お体を大切に。

# 栄八通信

武雄市議会だより (Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第79号



宮本 栄八  
武雄市議会議員  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

R2年147(10)月発行

## 市民に朗報 武雄工業用水(30年間) 杵島工業用水との統合

私が旧武雄市から議員をさせてもらって、やらなければならぬ仕事の一つに、工業用水道事業の今後の道すじをつける責任がある。昭和61年から5年間にかけて、H6年(西川登町)に矢筈ダムがつくられ、川登地区の水道水と、工業用水が目的だった。その工業用水は、西川登町でくみ上げ東川登町の(第三浄水場)で処理し、上西山(川良) (配置池) ↓朝日川から若木まで送水し、若木の県営武雄工業団地まで、遠々と送る形で、南北20kmの配管がされている。

若木の工業団地の8社中4社が利用しているが、1日最大供給能力2325m<sup>3</sup>に対し使用は、250m<sup>3</sup>程度で、約1割しか利用がない状況。私は、H7年に議員になったが、当時から、ダムの権利・設備の起債の返償など、毎年、約5000万円を一般会計から補填の為に繰入れがされてきた。

議員としても、売上げを増すために、給水地区が武雄工業団地のみだったので、広げる様に提案したが、さらに拡大して失敗するのを心配したのか、拡大されず、ただクリンセンターに雑用水として送水する事は実現した。また、高利子起債の低利借替はできた。しかし、毎年5千万円の補填は続いていた。

それが、あと2、3年で払い終わる見通し、ざっと計算すると、H6年からR4年まで28年間で15億円程度、市民の税金を投入してき



## R7年 競輪場リニューアル 選手宿舎・管理棟

競輪場は、4年前に東側の車券発売所と鉄骨スタンドを、冷暖房完備のメインスタンドにリニューアルして、ナイター等も可能にした。それがコロナ禍で収益の落ち込み緩和に役立っている。

一方、その反対側にある大型の建物2棟が特観席という有料の観客席で、以前は花形の施設だったが、近年の電話やネット販売で、全国的に客もまばらにならなくなった。

競輪場は、4年前に東側の車券発売所と鉄骨スタンドを、冷暖房完備のメインスタンドにリニューアルして、ナイター等も可能にした。それがコロナ禍で収益の落ち込み緩和に役立っている。

一方、その反対側にある大型の建物2棟が特観席という有料の観客席で、以前は花形の施設だったが、近年の電話やネット販売で、全国的に客もまばらにならなくなった。

## どきどき一面判断多い 新幹線問題・山口知事が正論

R4年秋に長崎新幹線の武雄温泉・長崎間の開業が発表された。今後は、フリーゲージ断面後の博多間の対策が必要になる。

与党プロジェクトの意向を受け、国交省は、フル規格での整備を佐賀県に認めさせようとしている。一方、県知事は①多額の地方負担 ②在来線の3セク化などの不明な点や、今までフルやミニ新幹線について話し合った事がないとして、フル規格を拒否する。

私自身は、山口知事が正論として判断を高く評価している。本来ならば、R4年にはフリーゲージトレイン(FGT)で、大坂まで行けたのが、R4リレー方式の暫定開業になったのは、FGTを国がちゃんとした説明もなく、責任を果たさず、急に断念したのが原因。

一方、フル推進の人は、大阪まで行くのとは大差ないと思っ

## 「コロナ対策」6億円 第2弾

前のコロナ対策の1兆円の武雄市分が、2億円でプレミアム商品券などを行った。今回の第2弾は国の2兆円で、市には4億円と割り当てられている。

現在半年分しか予算化していないし、小学生については、未定の状態。ただ、そのソフトを見ると、講師が黒板に板書した授業を写したもので、同じようなものは、市内の先生でもできて、費用も抑え、長期に利用できると思う。今回は宝の持ちぐされを防ぎ、せっかくなので十分に活用してほしい。

一方、今回の整備費用は、武雄市へのコロナの臨時交付金を利用し、そうならば、市民による青陵中学生等に、学習ID(ソフト)は利用できるようにすべきではないかと思う。

## パンク4000台更新GIGA(ギガ)スクール

GIGA(ギガ)スクール構想という文科省が打ち出した、全国小中高校生に1人1台の端末(パソコン・タブレット)の整備を2019年、23年までの5年間で行う計画を始めていた。

ところがコロナ対策で、安倍首相が今R2年度に前倒しを決定した。また、これまで、地方交付税への算入と分りづらくなり、取り組みはあまり進んでいなかった。

今回、国はパソコン1台の金額を4万5千円上限に、その1/2を補助金で出すことになり、大きく動いてきた。

一方、武雄市は、H25年から、H29年にかけて独自に約3億8千万円かけて、既に1人1台整備しているが、今回、全小中学校の全てを交換する方針。

その理由は、今回、国は、キーボード付きを想定していて、それ

# 市民は知らないと思う アセット計画の内容

武雄市公共施設総合管理計画でH28年市の施設を、人口数に合わせて、40年間で30%、10年間で8%の削減をする計画で、その10年間の実施策を個別施設計画(アセット計画)として、今8月に公表。ネットや公民館に計画書を置いて、2週間程度、パブリックコメント(意見募集)があったが、ほとんどの市民は、関心がないというより、ちゃんとした広報や説明がなく、そんなものがあるかを知らない状況。

しかも、10年の計画期間はH28年からで、前期と後期に分けて計画してあるが、前期はR3年までで、あと1年のところで計画を公表して、スピード感を疑う。

本来は、市の将来に関する事なので、各町で市民説明会や意見交換会でもやる必要があると思う。

## 児童クラブの環境 武雄小も意見を聞いてから

子育て教育に力を入れている武雄市にあって、附に落ちないのが児童クラブの処遇。

武雄小児童クラブは、現在旧武雄保育所の建物を利用している。武雄小の大規模改修の前は、御船小との分離前の空教室が多数あり、そこを専用区域として利用していた。

一方、今回のアセット計画では旧保育所の老朽化のため、武雄小学校の「空きスペース」を利用して、その方針を出している。前期実施(R3年)なので、唐突で早急な話である。

ただ、不思議なことに、本来のアセットの目的は、建物の存廃の計画なのに、その廃止や解体は示されず、中を利用して児童クラブを集約する本末転倒した記述がされている。

## 白岩競技場の 駐車場と相撲場

今後、白岩運動公園は、野球場が東川登町に移転し、新体育館が作られ弓道場は残る。一方、高段にある競技場(トラック)や運動広場(現状ソフト場)は特に整備はされない計画。

一方変更するのは、相撲場で、北方の相撲場との統合で、R3年には廃止し、駐車場として活用すると、アセット計画に記述してある。

確かに、白岩の高段については、ちゃんとした駐車場がなく、以前大会などの時、弁当を持って長い階段を上がらされていた光景も見えた。

そんなこともあってか、高段への駐車場確保の要望はあり、その実現は良いと思う。ただ、相撲場を廃止する前に、日時計広場を駐車場として整備する方が先と悪い、今議会に一般質問をした。



日時計広場の整備を

佐賀西部広域水道に統合されて、特に問題はない状況と思う。

統合前には、40年間の料金シミュレーションが出されていた。3年間は、現状でいくとの方針は説明を受けていた。

しかし、6月議会で、統合料金金は、令和16年から、約15年も先の話でびびり。

武雄市は1㎡当り現在223円で統合計画ではR7年に215円、R12年に210円でR17年には今より高い、231円になり、約10年間のメリットがなくなるので、4年後からの統合料金にするように西部に意見すべきではと質問した。

市は、西部は4年後から、武雄市については、20㎡当り100円程度下げるとの報告。

ただ1㎡当り5円なのでR12年の210円の差10円なので、20㎡200円下げてもらう必要がある。

## 水道料金 100円下げ

武雄市は、判断すべきだが、下水道料金。県内で一番高いのが、武雄市。考え方としては、維持管理費程度を負担してもらうとの理論。現在、ほぼ賄って、見直しも良い時期。

他の市では、国の示す3000円程度で設定して、直接収支を反映している所は少ない。

今回質問で、見直しを訪ねたが、今年度見直すとの考え。

工事の進捗状況も絡み収支の反映が影響している、各市町の財政力がない鹿島や多久より安くければ、おかしいと思ってる。

市	料金 20㎡
鳥栖	2,430
鹿島	2,592
嬉野	2,910
小城	2,970
佐賀	3,110
唐津	3,240
多久	3,420
万里	3,780
神埼	4,104
武雄	4,104

## 防災個別受信機 市長の謝罪と原因

新聞報道にも出たが、防災個別受信機整備に関する市長の謝罪。何が原因かといえは、2ヶ年間で約6億円も支出する内容が、ほとんど説明無しに、先行して朝日町に設置されて、一体どうなっているのか?との疑問から。

この事業は、外に立つ防災無線が、風で聞こえないことから、家庭内受信機を希望家庭に無料で貸し出すもの。今回の問題は、契約条件を議会にせかけないとの批判が、事業の名称が、防災システム構築なので、財産の購入でない市で、議会承認は、いらぬとの顧問弁護士と相談して決められた問題なのだと判断と繰り返して、当初は、防災行政無線と言っていて、無線でなく有線なのか。今、若木町や西川登町に整備している個別受信機は個人負担もあって、

の設置だが、どうなるのか等、有線になったのはプロポーザル入札の総合判断とのこと。現在の受信機は、耐用年数の10年を過ぎているとの説明。しかし、問題になってからの説明がなく、当初より説明がやはり必要だった。

近くでは、嬉野市は無線方式で、鹿島市は有線方式で、鹿島市は安く抑えるのが選定の理由。

一方、市は別に、スマホに送信するアプリも整備中で、それなら若者家庭など、わざわざ部屋に受信機を置く必要はないので、それも早期に実施が大切と思う。

一方、今回の件で、6億円のほとんどは、受信機と工事代で、システム構築費は少ないのに、システム構築とえば、議会の承認はいらぬとの弁護士の判断は疑問。

## 「花まる学園」の 今後

武雄市の進める官民一体型学校。花まる学園は、H27年より朝自習の時間を活用して、ゲーム形式の学習を地域の丸つけボランティアの協力を受けながら、今R2年御船ヶ丘小の実施で、市立小学校11校ですべてが取り組んだ。

そこで、一般質問で、授業への導入や中学校への拡大など、今後の展開や予定を尋ねた。

教育長は、半分の5年が経ったので、花まるの改善検討委員会です話し合ってもらおうとの答え。

今回の答えで、計画期間が10年で、検討委員会があることも初めて知った。また、最近、武雄公民館からの資料で、実施主体の、各町地域学校協働本部の上に、武雄市学校協働本部があることも知ったが、会長はなく、予算もないに驚く。

## 小学校のトイレ様式化

他議員の質問で、私も知らないことがあった。小学校のトイレの様式化が遅れていて、一部のトイレに集中し、児童が不便な思いをしているとの話。確かに、子ども達の声が行政に反映しているかといえは、疑問に思う。

市は、まずは実態調査に入るとの答えだった。

## 松浦鉄道MRの 武雄乗り入れ

他議員の質問で、武雄のハブ都市化に関係する質問と思うが、佐世保-松浦-伊万里-有田まで来てはどうか?との主旨の質問があつて、市長は推進するような答弁。

ただ、MRに加入すれば、3セクの赤字の負担を武雄市も求められる。利用者も多くは、その市内の移動に利用され、観光利用は少ない。その上でもハブ都市に必要な判断。



# 栄八通信

武雄市議会だより (フェイスブックも) 始めました

http://ei-8.info/

第80号



武雄市議会議員  
宮本 栄八  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

R3年①4710月発行

## 不平等と宿泊施設整備 話題の奨励金条例の中身

12月議会、宅配ボックス半額補助予算600万円が目立つ中、大きな条例が出された。

それがこの「武雄市宿泊施設等整備奨励に関する条例」で内容は、

○対象者は宿泊施設等に2億円以上を整備し、収容が20人以上、

A 新設・増設Ⅱ固定資産税の5年免除、後5年は半額免除

B 改造・改修・譲り受けⅡ整備奨励金1/10なので2億円で2千万円。またA・Bに共通する支援は

①雇用奨励金を1人当り50万円、市外者には75万円、(1億円上限)

②利子補給金として借入れ利子の1%を3年間(1億円当り)

③操業支援金として5000万円を交付(ガス水道等今後基準作成)

◎そしてこの条例の期限が、5年間の期限でR7年3月31日失効。

これは、工業団地の企業誘致条件を横滑りさせ、元々の宿泊奨励金の条件、1億円投資を2億円にハードル上げる一方、収容人数は50人から20人下げた内容。

超好条件にした理由は、新幹線開業等で収容人数を上げる目的との話。ただ問題は、この支援が一部への超優遇策で公平性に欠けるとの意見が多い。企業誘致と同条件というが、工業団地等の進出企業は市内業者とライバル関係になく、逆に関連企業を創出するなど影響は異なる。

しかも、宿泊人数を20人増加させても、コロナで50人の宿泊施設が減れば、税金投入の意味はない。

## 県事業の最新まとめめサイト



武雄川現在進む堰下流工事

【山内町カヤバ跡切り改良】今年度3月に設計が終わり、用地の交渉に入るらしい。

【北方町大崎交差点の改良】これら3月に設計が完了する。

【武雄川の改修】場所は、上山山の西山線のみのみ木さん近く、コンクリートの固定堰があるが、下流農地に配管で水を供給する方式に予定している。

【北方町広田川ポンプ設置】R元年の水害激特事業5年間で整備するが、現在は、ポンプ能力5tと、近々住民にも説明会を開くと、効果がわからないとの話で、理由は広田川への水の集まらない、とのことなので、北方中央線よりから広田川への、横水路も必要。

## 学校トイレの16増も道半ば!

前回の通信で伝えた学校トイレの件、タイトルが「様式化」と誤植をチェックできず発行し、まずお詫びします。ただ、この件で多くの人から声をかけられて、別の意味では良かったところもありました。

本題に入りますが、和式と洋式のバランスが悪く、児童が不便や我慢を強いられている課題に対し、今12月議会では、洋式化改造の設計が計上されています。

その中身は、御船小の校舎トイレ和式を39から20に減らし、洋式を11から27に16基増やす計画で、現在635人の児童の1便器あたり58人で使用していたものが、24人になり、市内全児童の2733人の1人当たり17人から16人になり、改善されるとの判断。これに先立ち、教育委員会は、児童の家庭の使用トイレ使用調査をしたところ、

御船小	洋式	和式	1基当り	児童数
現在	11	39	58人	635人
改修	27	20	24	635

朝日小	26	24	17	430
武内小	6	19	21	128
橋	6	13	25	147
山内東	7	29	29	206
山内西	9	25	26	238

洋式 平均1基当り16人を越える学校

## 六角川整備計画見直し ポイントの「分水路」とは

平成24年8月に、六角川水系河川整備計画を国が30年間の期間で策定していた。その柱は、牛津川の遊水池と、六角川調整池の整備で、牛津川遊水池については、R元年水害の激特事業で予算も付き、動きがある。

一方、東川登の砕石場の穴を利用して水を貯める六角川調整池については、近くの河川の拡幅の用地取得に着手している。ただ、本体については、砕石場が、現在も操業中で、具体的交渉はできない模様で、長期の時間がかかるものと思われる。

【整備計画の変更が7月に】R元年水害もあつて、30年計画が見直され、一番注目するのは「分水路等整備」で具体的には、水害のあった、大町の工場横の六角川の蛇行を直線化する工事



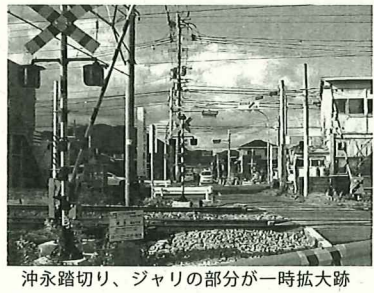
## いよいよ 沖永踏切り拡幅へ(設計に)

バイパスのメモリ方面から、旧34号線のツタヤ等に買い回りののに便利なのが、武雄自動車学校横を通る方法。しかし、沖永踏切りが狭く、通行しづらい。

フリーゲージトレインが実現すれば、複線化工事で広くなるものと思われていたが、断念し、その影響で、武雄-高橋間は単線のままで、拡張の夢は途切れた。

そこに朗報があったのが、踏切り東側に、新たにJRの変電所を建設するにあたり、大型機械を搬入するために、今の踏切りでは無理なので、遮断機を西に移動させ、既に夜間に運び込んだとの話。

せっかく、現在遮断機の幅を広げていけるので、それを利用して、踏切を改良できないか、市はJR九州と調整し、今回、踏切り改良



沖永踏切り、ジャリの部分が一時拡大

### ふるさと納税が3倍増 12億円に

コロナ禍で室内にいる時間が多いのか、市へのふるさと納税額が当初見込みの、4億円から、8億円増の12億円に伸ばされた。

先の総務省の見直しで、税の証明書発行以外の費用を50%以内としたため、6億円は市に入る。

残り50%の内分は、参加店約60店に対し、売り上げに対し、送料・税込みで30%3億6千万円を支払う。

次に、委託会社(大平商会)北方町)に8%の9600万円を支払う。次にポータルサイトと言ったネットの受付け、ふるさとチョイスは5%、ふるなびは10%などで、約8割はふるさとチョイスなので、単純計算で6000万円、次にカード会社に1%2%で、2400万円程度。他市では、送料を市の経費で払うところや、委託会社と4.5%で半分程度で契約しているところもある。

### 若木町公民館前 防災チャネルから消えるかも

防災のチャネル画像に、若木公民館前が出てくるが、その原因がこれまで私にはわからなかった。

公民館前の小川の鉄板橋の下に板の根があり、それが原因らしい。今、498号バイパスができて旧道が、市に移管される前に県が整備しているが、鉄板橋が除去されるタイミングで、市が水量によって流れる転倒堰に交換する。

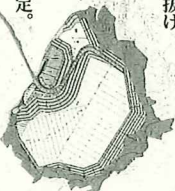
これで、公民館上流からの水がスムーズに流れるものと思う。



### 「新野球場」「新工業団地」 工事着手します

【新野球場】令和2~3年度事業だが、いよいよ工事費が付き着いた。予算は約8億円。東川登町に整備場所についてなげあいの場所を使い勝手がいいのかと言う声を聞く。また、野球場と並んで整備に挙げられていた、多目的広場も十分に作れないとのことで、シーズンオフが心配。

【新工業団地】これも、東川登町だがR3年度から工事に入る場所は山崎さんから高速に抜けたところ。約14ha、約4億6千万円、R4年6月完成予定。



### 新幹線県負担金 今年度はスムーズに!

昨年度、市が増額分の支払いを保留し、議会でも取り上げられたが、今年度は12月補正で承認した。昨年の問題は、①県が、増額分の明確な説明がない。②知事が県議会の支払い保留の原因を、水害の関係と発言した。との話で見方は、県庁の不誠実、知事の嘘つきとの印象で、私もそうなのかもしれないが、市長は水害の話はしていないが、他の者がそんな風な話をしていたこと、また、県に請求する、鉄道運輸機構が明確にしていなかった原因で不当な請求でない。

一方、調べる中で、嬉野市は6600万円、武雄市は1億6千万円と大差があるのは変だが、その差は、負担割合の基本は、都市計画用途地区の広さで、嬉野が1.2K、武雄が2.4Kと2倍。また、道路をまたぐ富岡橋りょうも原因だった。

### ゴミ処理費◆急騰の理由

R1年度より、ゴミ処理費用が約2倍に急に跳ね上がることが示された。私も忘れていたのだが、原因は、西部ゴミ処理センター(伊万里市松浦)の運転の委託料が上がるため、センター操業から、3年間は、機械設備についてメーカー保証があるために、運転費用だけの委託契約だった。その後、12年は、故障の修理代を含めての包割委託を結ぶ方式にしたため、契約額が跳ね上がった。

その当時も、通信で、同様な施設で、運転のみを契約している例や、西部を、建設したメーカー関連会社の1社参加の入札になったことへの検討が十分なのかの疑問も提示していた。一方、包括委託の料金としては、15年程度の契約金額が、建設費が目安とも聞くが、西部の場合建設費は43億円、

### 住民参加行政と「意見」の公表

最近、市の重要な計画への市民参加や議論が低調と思う。そんな中、素晴らしいと思ったのが、市のホームページに、市へのご意見とその回答があり、分かりやすくできている。ただ、それが平成30年までしか掲載がない。

そこで、クリックする「意見」のアイコンを大きくして分かりやすくしては、と今議会提案。

市の答えは、個人的なものも多く、掲載していないとのこと。

そこで調べてみると、平成30年45件、R元年45件、今現在66件があり、本人には、返答している。H30年の質問や回答を見て、「よくある質問」のように、本当に役立つもの。

ただそこには基準も記されていない、それに従い公表すべき。

西部クリーンセンター運転費

	H30年 前3年18億円	R1年 後12年165億円
市負担金	2億3,347万円	4億91万円 (災害ゴミを含む)
一世帯	1万2,802円	2万1,702円

### モリモリ応援便 5万円350人を見込む

国の定額給付金10万円の対象外の4月28日以降、R3年3月31日に生まれた子供に支援する自治体もある。武雄市は10万円現金給付でなく、モリモリ応援便として5万円分の商品を送った。(内訳は)

○2万円は商品券で、紙おむつや消毒液なども買えるもの

○3万円は、食材を添付した。

○佐賀牛を15000円分ナチュラールに発注し、②若木ポークを5000円宮地ハム、③豆腐を5000円平川豆腐、④桶産米を5000円桶産と扱う小町の業者に発注した。R3年3月までは、出生届けに受け付ける。

一方、福祉文教委員会では、地元業者の利用を意見し、私としては、学校給食納入業者中心を想定していたが、そうではなく、残念。また、現金給付が良いとの意見もあった。

### R2 高架区画整理事業の総括

計画決定までに15年、工事着工から20年のJR線高架化・北部市街地の区画整備がR2年3月に終了し、今議会決算認定され完了。色々議論の対立や積み重ねの上で成立したと思うが、H10年に工事に着手する前の15年間に大変だった。元々、市街地と南部バイパス地区とを線路で分断されていたので、その解消を県事業の鉄道の高架化で解決するため、牟田市長のS57年に調査、石井市長に変わって、S62年に採択された。しかし、国県は、区画整理で市街地の整備をセットで求めてきた。それが25haと、駅から温泉辺りまで広範囲で168億円かかるとして、「身の丈に合わない」事業として市長は補助金を返納するに至った。

平成になって、H5年に下西山を除く23ha案にして調査すると、逆に300億円になり、失望感も。さらに、私が議員になった、H7年に再度見直し、東の永松、西の竹下を外して、駅と市役所を交換する18ha案が提出されたが、費用は262億円だった。どうせ街を作り替えるならとの話だったが、私は当時、駅の移転費用など、市が出すことになり、積極的に見えて話を難しくする高等職術との見方をしていた。

当時私は、やるか、やらないかどちらでも良いから決めてほしいのが主眼で、その理由が、計画の前で、商店の方が、どうして良いか判断がつかず、「南北2店経営」をせざるを得ない状況、今も宮崎薬局さんやSAMさんは名残り。

当時、若手の重松議員や、私は市長に何回も一般質問を繰り返していた。

### 【8ha分割実施案】

当時「高架北部市街地調査特別委員会」があり、市民と合同委員会を開くなど、新聞にも取り上げるくらい活発で、当時国から来た、原田邦彦土木部長が岐阜駅の高架化に携わったとの話で、訪問して意見交換した。部長は、下水道整備など市政を辛辣に批判してきた。委員の中には、あまりにも無礼なので抗議して謝罪を求めるべきとの声も。

私は、事実なので、あえて反発を買ってでも実現のために本音の話をしようとの考えでと思った。

そこで、原田土木部長が提案したのが、実現のための分割実施案。それは、認可が、当所の25haで取っているので、それを変更する、分割して実施するとし、また、区画整備の範囲は、高架事業に必要な土地を生み出すだけの8haと超コンパクトな究極の家だ。後で調べると原田氏出向はH8年度のみで、貴重な出会いだった。

### 【武雄温泉駅舎 デザイン白熱】

北口高架の駅舎のデザインは期成会で検討した。当時、他市は1億円ほど市民から集めていた。

武雄市は、負担のいらない、JRの1400ぐらいの基本デザインから選択。東島部長は温泉楼門風を押し、大坪市議は、当時最新の東北新幹線駅や佐賀空港のような明るいガラス張り押し、白熱。私は、東京駅風を押し、結局論は、明るさから、ガラス張り。ただ、樋渡市長が就任し、東京駅風が叶ってびびり続けた。

一方、現在、新幹線の駅南口のデザインが鉄道機構から示され選択したが、武雄温泉楼門風で20年を経て、東島部長が目の目を見た形だが、機構の絵は、暗く、当時の東島案は、もっと楼門の朱に近いもので、そうならないかと思う。